

外科学 A

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5 年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

榎本 克久(隣接医学 兼任講師)

大谷 直樹(隣接医学 兼任講師)

駿河 誠(隣接医学 兼任講師)

永井 多賀子(隣接医学 兼任講師)

萩原 謙(隣接医学 兼任講師)

林 成興(隣接医学 兼任講師)

山下 裕玄(隣接医学 兼任講師)

石本 真一郎(隣接医学 兼任講師)

菅 順一郎(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯科臨床を系統的に行うために、必要な外科的知識を理解し、全身的視野に立って外科学の基礎的知識および概念を身に付ける。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な外科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

第1回～第7回終了後、平常試験を行う。定期試験は、第8回以降の内容から出題し、両方の試験を総合して各50%により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常試験後にはフィードバックを行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅱ	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和4年

参考書	指定しない。			

◆DP・CP

DP 4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP 5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP 6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP 7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP 3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP 4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP 7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, III

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.9	7	【対面】	・外科の歴史を学び説明できる。	山下 裕玄	E-6 医師と連

				1. 外科の歴史 外科基本手技	<ul style="list-style-type: none"> 標準的手術器械について学び、注射、穿刺、ドレナージの基本手技を説明できる。 切開、止血、縫合の原則と手技を説明できる。 		携するために必要な医学的知識
2		5.9	8	【対面】 2. 外科学的診断 患者の診方	<ul style="list-style-type: none"> 外科的身体所見を取ることを学び説明できる。 鼠径ヘルニアについて学び説明できる。 	山下 裕玄	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		5.16	7	【対面】 3. 消化器 1)大腸・肛門	<ul style="list-style-type: none"> 高頻度に見られる疾患の症候と診断の基礎を説明できる。 	林 成興	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		5.16	8	【対面】 4. 急性腹症	<ul style="list-style-type: none"> 急性腹症の症候と診断について学び外科的処置について説明できる。 	林 成興	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		5.23	7	【対面】 5. 乳腺外科	<ul style="list-style-type: none"> 乳癌診療の概要を説明できる。 	榎本 克久	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		5.23	8	【対面】 6. 内分泌外科	<ul style="list-style-type: none"> 内分泌外科（甲状腺・副甲状腺中心）の概要を説明できる。 	榎本 克久	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		5.30	7	【対面】 7. 呼吸器外科	<ul style="list-style-type: none"> 肺、気管支の症候と診断について学び、外科処置を説明できる。 	石本 真一郎	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
		5.30	8	【対面】 平常試験		米原 啓之	
8		6.6	7	【対面】 8. 脳・脊髄 1) 中枢神経系	<ul style="list-style-type: none"> 中枢神経系の構造と機能の概要を説明できる。 中枢神経系の特殊性を説明できる。 	大谷 直樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

					・意識レベルの評価法を説明できる。		
9		6.6	8	【対面】 9. 脳・脊髄 2) 脳血管障害	・代表的な脳血管障害の病因，症候，診断と治療を説明できる。 ・主な脳の感染性・炎症性疾患の病因，症候，診断と治療を説明できる。 ・主な脳・脊髄腫瘍の症候，診断と治療を説明できる。 ・主な頭部外傷の病因，症候，診断と治療を説明できる。	大谷 直樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		6.13	7	【対面】 10. 消化器 2) 胃/十二指腸疾患	・胃と十二指腸疾患について学び説明できる。	萩原 謙	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
11		6.13	8	【対面】 11. 消化器 3) 食道	・外傷，腫瘍について学び説明できる。 ・歯科診療偶発事故について学び，その対処法を説明できる。	萩原 謙	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
12		6.20	7	【対面】 12. 整形外科総論	・骨，関節，筋について学び，診療の基本を説明できる。	駿河 誠	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
13		6.20	8	【対面】 13. 整形外科 1	・椎骨，ヘルニア，リハビリテーションについて学び，治療の基本について説明できる。	永井 多賀子	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
14		6.27	7	【対面】 14. 整形外科 2	・関節，関節リウマチについて学び，治療の基本について説明できる。	菅 順一郎	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
15		6.27	8	【対面】 15. 移植手術	・臓器移植手術およびGVHDなどの移植後合併症について説明できる。	米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

